

事業所名

ハピスポ貝塚

支援プログラム

作成日

2024 年

11 月

8 日

法人（事業所）理念	・子どもたちが安心して過ごせる場所 ・「できた！」という成功体験を重ねる支援 ・自分自身の存在が大切にされる				
支援方針	一人ひとりの特性を理解し、年齢や発達段階の把握・個々のニーズの把握・自閉症スペクトラムやADHDなど特定の特性をもつ子どもたちに合わせたアプローチを考えながら、その子の「強み」をさがし、できないところに視点を置くのではなくできることを伸ばし「できた！」の成功体験の積み重ねで自信に繋げ、様々な事への関心が向きチャレンジをする支援。				
営業時間	10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	挨拶・整理整頓・掃除・身だしなみ等の身辺自立の育成。自らの検温実地により自身の健康管理への関心と意識。			
	運動・感覚	身体を動かす事は、姿勢やバランスの発達、持久力の向上だけではなく自律神経にも良い影響を与え、心と体の落ち着き、集中力の向上に繋がる。実地する運動プログラムでは固有感覚・前庭感覚の発達にも影響を与え、力加減、手先の器用さと身体づくりを基本の支援。			
	認知・行動	気持ちの切り替えや感情のコントロールをする方法を身につける支援。その他、思考力や問題解決能力を高める支援。（本人合わせて振り返りをしながら療育をする）			
	言語コミュニケーション	言語的・非言語的（ジェスチャー・表情や視線）コミュニケーション方法を多様に使い、子どもが理解しやすいように支援をする。その他、視覚支援（絵カード・写真・実物）を用いて具体的な言葉の理解を習得できるように支援し、言語能力やコミュニケーションスキルの向上を図る支援。			
	人間関係社会性	目的を達成するために過程を踏まえた学習。集団活動を通じて仲間たちと規律と協力ともに活動する楽しさの学び。人との関わり性を良くするための習慣づくり。自己表現力・表現方法の育成。規律やルールを守ることの意見と大切さ。			
家族支援	連絡帳や帰宅送迎時、口頭で活動の様子、健康状態を詳しくお伝えをする。同時に、保護者様のレスパイト。	移行支援	個別に自立活動に取り組み、時間の概念、金銭管理といった将来の自立した生活が送れるように必要なスキルの習得をする。		
地域支援・地域連携	学校・他事業所・相談事業所（相談支援員）と常に関わりをもち情報の共有を心掛ける（担当者会議の参加）	職員の質の向上	社内研修・社外研修の参加		
主な行事等	季節の行事（初詣・クリスマス会・夏まつり）・クッキング・お買い物学習・自立活動（日常生活の向上を目標に「洗濯」「靴ひもの結び」「掃除」）・社会見学・SST・リトミック体幹トレーニング・ダンス・季節の制作・お話の会・避難訓練（一か月に一回実地）・軽スポーツ（とび箱・サーキット運動・ボルダリング・バスケットボール）				